



悲願の初優勝！

アメフト日本一の佼成学園にスポーツ栄誉章

1月26日、アメリカンフットボールで見事日本一となった佼成学園高等学校のメンバーが、区役所を表敬訪問。悲願の初優勝の喜びを報告しました。この全国制覇を受け、区からはスポーツ栄誉章を授与しました。

杉並区和田2丁目の佼成学園は、宗教法人立正佼成会を母体とした男子校で、中高一貫教育に力を入れています。昭和50年に誕生したアメリカンフットボール部も、中学の3年間を含めチーム力を高めてきました。そのチーム名は、LOTUSです。ロータスは蓮という意味で、「多くの人と共に」の精神を表しています。

そのLOTUSは、創部42年。全国高等学校アメリカンフットボール大会で、ベスト4になったほか、23・26年にも大会に出場しました。しかし、これまでは関東大会の優勝校と関西大会の優勝校が、日本一をかけた決勝戦である「クリスマスボウル」には、手が届きませんでした。こうしたことから、多くのOBや関係者が、クリスマスボウル出場を合言葉に、チームの応援を続けてきました。

そんな多くの応援を受け、今年のLOTUSは東京都大会で優勝。全国大会に駒を進めると、過去に日本一になったこともある法政二高、駒場学園、慶應義塾を押し分け、初めての決勝の舞台「クリスマスボウル」出場を決めました。決勝は、12月23日大阪のキンチョウスタジアムで、全国優勝18回の強豪関西学院との対戦となりました。試合は、手に汗握る接戦となりましたが、東京から駆けつけた大声援を受け27対17で、初出場初優勝を果たしました。

26日午後3時45分、区役所1階ロビーには、小林孝至監督や主将の市川司韻（しいん、3年）など14名が、出迎える区民や職員が200名ほどに優勝を報告しました。

その後、メンバーは区長を表敬訪問。市川主将は、「全国優勝だけを目指して練習を積み重ねてきたので、その目標が達成できて、本当に嬉しいです。来年は連覇がかかる中での戦いとなりますが、後輩たちにはもっと強くなってもらって、また全国優勝の喜びを味わってほしいです」と笑顔で話しました。区からは、全国制覇を讃え、スポーツ栄誉章を授与しました。

